

設立20周年記念企画

「土木のある風景」写真コンテスト報告

実施日：平成28年12月4日(日)



一般社団法人東京建設業協会の共催、東日本建設業保証株式会社の後援により新宿明治安田生命ホールにて「土木のある風景」写真コンテスト展示会を開催するとともに、優秀作品の表彰式を実施いたしました。

当会では、設立20周年記念事業として「土木のある風景」写真コンテストを実施しました。「土木のある風景」、「東京の土木のある風景」、「土木工事現場の風景」、「U-22（「土木のある風景」のテーマで22歳以下の方が対象）」の4部門からなる写真コンテストでした。8月1日(月)から9月30日(金)までの2ヶ月間の募集期間内に全国の皆さまから合計104点のご応募がありました。応募作品には、一度は見たことのある景色や、初めて見るような工事現場の写真等様々な写真があり、来場者の方々は一枚一枚足を止めながらご覧になっていました。表彰式は伊藤寛治会長の挨拶にはじまり、各部門の入賞作品をスクリーンに投影しながら紹介した後、最優秀賞を受賞した4名が受賞者

を代表して伊藤会長より表彰状を授与され、伊藤壽章審査員長の総評で幕を閉じました。

表彰式の後には、株式会社熊谷組の特別協力により同会場内で石原裕次郎さん主演の映画「黒部の太陽」を当時のフィルムで上映いたしました。難工事の代名詞でもある「黒部川第四発電所」建設工事に臨んだ先人の様子を知ることができる貴重な映画です。

写真や映像作品を通して分かりやすく、楽しく土木について知り、考える機会になりました。

なお、11月25日(金)に当会のホームページにて各部門の最優秀賞、優秀賞、入選作品を公開中です。
(<http://www.to-gish.com/>)



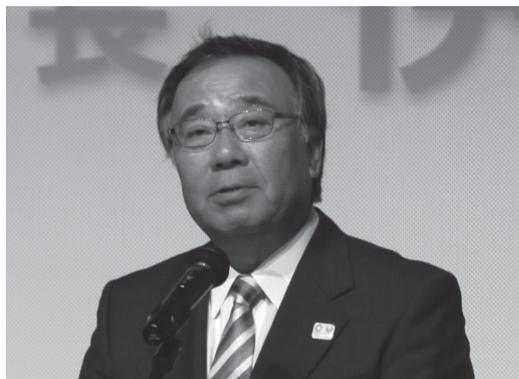
作品展示会の様子



最優秀賞受賞者の方々と伊藤会長の集合写真
左から熊井崇様、多和祐二様、伊藤会長、木村ゆうじ様、清水学様

会長挨拶

東京土木施工管理技士会 会長 伊藤 寛治



『「土木のある風景」写真コンテスト表彰式・映画上映会』の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当技士会は本年が「設立20周年」にあたることから、「記念事業」の一環として、『「土木のある風景」写真コンテスト』を実施いたしましたところ、全国から多数のご応募を頂き、誠にありがとうございました。

ハイレベルな応募作品の中から選ばれ、各賞に輝いた皆さまの作品を、私も先ほどロビーで拝見させて頂きました。どの作品も大変素晴らしく、最年少は4歳のお子さんとのことで、いたく感心

した次第です。

本日は、写真コンテストの表彰式を執り行い、熊谷組さんのご協力により映画「黒部の太陽」を上映いたしますが、このように多くの方々にご来場頂き、主催者として喜びに耐えられません。ご来場頂いた皆さまに心から感謝申し上げます。

また、「設立20周年記念事業実行委員会」の委員の皆さまには、本日の「写真コンテスト」をはじめ、様々な「記念事業」を企画・実行して頂いておりますが、とりわけこの「写真コンテスト」の選考にはご苦勞されたとお聞きしております。後ほど、委員長より「総評」が述べられますが、委員の皆さまに、この場をお借りして御礼申し上げますと存じます。

本日、上映をいたします「黒部の太陽」を通じて我々土木技術者の熱い思いが皆さまに少しでも伝われば幸いです。

ご来場の皆さまには、さらなるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますが、開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

審査員長総評

審査員長 伊藤 壽章

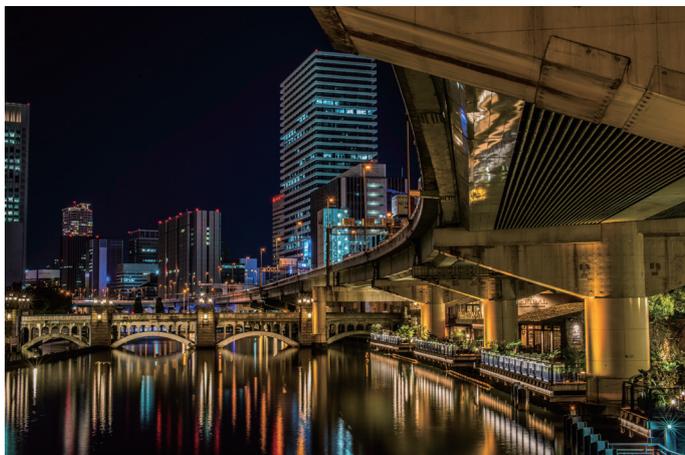


今回、応募された作品を拝見いたしますと、工事中の現場写真もさることながら、土木構造物が長い年月を経ていかに自然と融合しているか、無機質な都会の土木構造物がライトアップや夕日のシルエット等によっていかに芸術作品に変貌するかがわかり、我々、土木技術者にとってはたいへん喜ばしく思います。今回の応募作品はどれもが素晴らしい作品ばかりで、選考には大変苦勞しましたが、たくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。

審査員

伊藤 壽章	清水建設株式会社	草薙 史朗	鹿島建設株式会社	柏原 貴彦	株式会社熊谷組
白川 賢志	大成建設株式会社	佐藤 恭二	飛鳥建設株式会社	立川 忠道	個人会員

写真コンテスト各部門最優秀賞作品介绍



土木のある風景／全国

水都
熊井 崇

● 出展者コメント ●

阪神高速環状線の連続したピアが奏でる躍動感と歴史ある水晶橋。川面に映る眼鏡橋と夜景イルミネーションから無機質な構造物ですが水都大阪を感じられる風景に出会うことができました。



東京の土木のある風景／東京都内

東京ゲートブリッジと光跡
多和 裕二

● 出展者コメント ●

2012年2月開通以来、東京の新名所として観光客・見物人で賑わっております。特に、日没後ライトアップされた別名「恐竜橋」と飛行機の離発着時の光跡に人気があります。



土木工事現場の風景／東京近郊

重なるシルエット
木村 ゆうじ

● 出展者コメント ●

逗子特有の崖のある風景にて。本来の地型を壊さずに残してゆく仕事を見させて頂きました。危険な作業がゆえ、男性の真剣な顔が雄々しく、この方と崖の姿が重なって見える気がしました。



U-22／東京近郊

塗装補修工事の塗布状況
清水 学

● 出展者コメント ●

塗装補修工事の塗布状況の写真です。ローラーでは塗りにくい箇所を刷毛で塗っている様子です。